

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | ゼロカーボン茅野 |
| 事業主体 (連絡先) | 茅野市地球温暖化対策地域協議会 (茅野市塚原二丁目6番1号 茅野市役所 ゼロカーボン推進室内) |
| 事業区分 | (5) 環境保全、景観形成 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 920,580円 (うち支援金: 736,000円) |

事業内容

脱炭素に向けた持続可能なまちづくりを身近なところから考え、積極的に地球温暖化対策に取り組んでもらえるようにすることため、体験型のイベント等を通じて子どもから大人まで幅広い世代への意識喚起を行った。

・イベント開催

- ア) 6月3日 茅野市民館 約100名
- イ) 7月29日 青少年自然の森 4家族(12名)
- ウ) 9月2日 茅野市役所議会棟大会議室 14名
- エ) 10月28日 市民の森 34名
- オ) 11月18日 茅野市役所8階大ホール 26名

・グリーンカーテンづくり

- カ) 4月～夏期 東海大付属諏訪高等学校、玉川保育園、神之原公民館

・エコレポートの発行

- キ) 1月 市内回覧、小～高校、公共施設へ配布

・置き配バックによる省エネ啓発

- ク) 4月～1月 21世帯
ご協力いただける方に置き配バック(OKIPPA)を配布し、モニターとして、取組期間中はアンケートへの協力、省エネ効果の把握、環境家計簿もつけてもらった。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・身近なもので自然のエネルギーを使って料理ができるなど、地球温暖化対策につながる取組をイベントで実際に体験してもらうことで、新しい気づきを得てもらった。(参加者へのアンケートでは、勉強になった、日頃経験しない体験ができた、またやってみたいなどの感想をいただいた。)

・グループトークでは、脱炭素達成に向けて『茅野市をどんなまちにしていきたいか』について他世代と話し合うことで、「新しい意見を聞き、自分の地域の未来を考えることができた。」などの反響をいただいた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

活動を継続させるため、引き続き他団体等と協働し、地球温暖化対策の取組啓発を行う。また、地域の脱炭素社会を目指すため、イベント以外の場でも、実際に省エネに取り組んでもらう機会を設け、より多くの市民を巻き込んだ継続的かつ積極的な省エネ取組の実践につなげたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【グリーンカーテンのようす】

【目標・ねらい】

家庭における温暖化対策推進のため、若い世代(東海大学付属諏訪高等学校)との協働による体験型イベント等を通じた、幅広い世代への意識喚起

※自己評価【A】

【理由】

・計画していたイベントは、全て実施できた。
・今後も他団体等と協働して、より多くの市民を巻き込んだ継続的かつ積極的な省エネ取組の実践につなげる活動を行っていく予定。